

### (3) 不良債権処理の進捗状況

当行は、17年3月期をバランスシートのクリーンアップ総仕上げの年と位置付け、不良債権のオフバランス化や企業再生・再建に積極的に取り組むなど、財務体質の抜本的な強化に努めてまいりました。14年3月末に不良債権残高5兆9,203億円、不良債権比率で8.9%となっておりましたが、不良債権比率の半減目標を16年9月末に前倒しで達成し、さらに17年3月末には不良債権残高を1兆8,246億円まで削減、不良債権比率も3.3%まで低下いたしました。

14年12月に設置した戦略金融部門は、不良債権問題の抜本的解決に向け取引先企業の再生や事業再編に集中的に取り組むため、既存の融資業務関連各部を集約するとともに、専門スキルを有する人材を行内横断的に集め、外部専門家等も活用しつつ、企業再生や事業再編に注力してまいりました。その結果、前述の通り17年3月末に不良債権問題に決着をつけましたことから、戦略金融部門は17年3月末をもって廃止いたしました。戦略金融部門で蓄積したノウハウは、今後も業務推進に積極的に活用し、企業再生・事業再編等、新たなビジネスへの取組みを強化してまいります。

また、今後の不良債権問題の再発防止の観点から、大口与信先や与信ポートフォリオの状況をふまえ、機動的かつ適切なリスクコントロールを図るとともに、与信運営上の健全なガバナンス体制確保を目的として、17年6月、部門横断的協議機関となる「信用リスク委員会」を設置しております。

17年3月末の開示債権につきましては、16年3月末比9,866億円減と約4割の削減を実施しました。これは、破綻懸念以下先の債権につきまして債権売却、直接償却等により、オフバランス化を年間1兆7,624億円実施したほか、要管理債権につきましても、企業の再生努力に積極的に関与してきたこと等によって、16年3月末対比7,950億円の削減を行ったことによるものです。

一方、17年3月期の与信関係費用につきましては、不良債権問題の決着をはかる過程で、オフバランス化を促進するとともに、従来以上に保守的なスタンスに立脚した將

来リスクへの対応強化を行った結果、計画を5,048億円上回る9,548億円を計上いたしました。また、グループ連結での与信関係費用は、ローン保証を営む子会社で引当増強を図ったこと等から、1兆1,968億円となりました。

なお、当行は経済合理性、経営責任の明確化、社会的影響を考慮した上で、17年3月期中に6社で1,363億円の債権放棄を実施しております。